

造成計画平面図 S=1:250



(TP)  
KBMH=27.840



凡 例			
図 例	品 名	サイ ズ	詳 細
□	宅内兼水、排水幹	ホリアップロビレン管350型 厚圧レジコン管	15cm配管径と
○	宅内排水幹	ホリアップロビレン管350型 厚圧レジコン管	インバート管と
□	給水栓		PEP20
—	排水放散管	VUφ150 i=1.0%以上	宅内排水幹
—	排水接合管	VUφ150 i=1.0%以上	両管幹
—	ガッター		現場打5
—	街渠幹	グレイコグ T-14 (管径φ6.0m未満)	現場打5
—	排水管	リブ管φ250	既設品
—	水道管	HI 40	
⊗	仕切り弁		
⊗	土砂吐きドレーフ		
○	1号マンホール	φ600高 インバート管	RVホールド高T-14 下流収容、浮上防止型
■	切土		
■	盛土 (良質花崗土)		

※目地材はイラスタイト (i=10mm) とし10m以内当り1.0ヶ所とする。  
 ※宅内幹については、できる限り境界付近に設置する。  
 ※宅地の水及び土が道路に流出しないように盛土勾配は最終幹に向けて整地する事。  
 ※排水接合管 (宅内排水幹及び街渠幹) においては土被り60cm以下の箇所は管保護を行う  
 ※重力式擁壁 (道路擁壁除く) の載荷重は3.5kN/m<sup>2</sup>以下とする事。  
 ※「擁壁から50cm以内の区域は、空地として荷重を載せない事。」  
 ※泥だめは15cm以上設ける事。  
 ※雨水を集水する樹には穴あき蓋を使用する事。  
 ※全区画 合併浄化槽による放流 (2号地、7号地) 凡例のとおり  
 ※市道・構造物とL型親清の取合せ部は、段差なしの据付け施工とする。  
 ※宅内排水管の土被りは、20cm以上、勾配1.0%以上とする。  
 ※管文差部のクリアランスは10cm以上とすること。  
 ※本管への取付けは「支管接合」によること  
 ※本管がVUorVU (R) の場合、マンホール継手は可とう式継手とする。  
 ※マンホール蓋は、汎用品とする。  
 ※雨水・汚水マンホールについては、インバートを施工する事。  
 ※既設改修水路へ放流する街渠幹や宅内幹の放流高を通常水位以上とすること。  
 ※開発協議の対象は、最終幹から一次放流先までとする。

建築基準法42条1項5号道路  
第87号  
昭和44年9月9日

2号重打コンクリート L=15.55m i=5.00%  
WEL=27.922-28.000